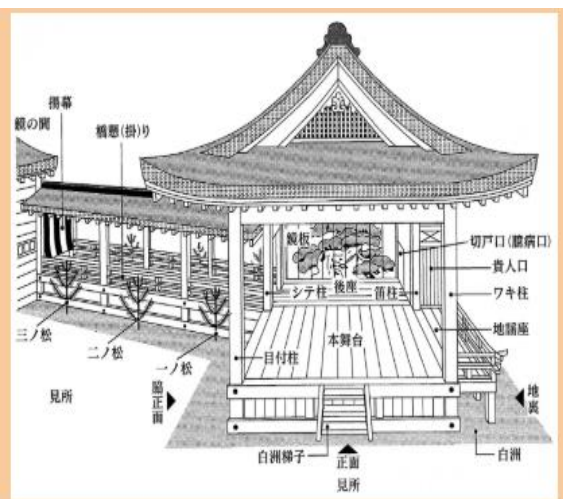




芸術鑑賞特集 10月16日

今年は「和泉元彌の狂言らいぶ」という狂言を鑑賞します。狂言とは言葉としぐさからなる日本芸能の原点と言われるものであり、日本の伝統芸能の中にあって唯一素顔で演じるものとして現代の感性をそのまま表現される優れた舞台芸術です。

狂言の生まれた室町時代の人々は、現代の私たち以上にもっと暮らしを楽しんでいました。歌を詠み、謡を謡い、舞を舞う。能舞台が野外にあったことも、自然をみんなで楽しんでいた証拠です。何も歌を詠まなくても狂言を見るだけで、日本人がもともと持っていた感性を感じることが出来るはずです。600年前の日本人が観ていたワクワクドキドキ感を体験してみましょう！



【当日の日程】

午前 ⑤⑥⑦の授業(50分授業)

- 11:35 ~ 11:45 清掃(ゴミ捨てを中心に)
- 11:45 ~ 12:20 昼休み
- 12:20 ~ 12:30 SHR ⇒ 出発準備(教室)
- 12:30 ~ 13:00 移動 * 開場前は、玄関前に待機
- 13:20 ~ 13:25 着席完了・放送による諸注意
- 13:25 ~ 13:30 校長挨拶
- 13:30 開演
- 15:30 終演
- 15:35 花束贈呈、お礼の言葉
- 15:40 ~ 16:10 移動



* 終演後のアンケートにご協力よろしくお願いいたします。

POP コンテストの結果お知らせ

上位 5 人の本を紹介します。



『アルジャーノンに花束を』

14HR F・S



知的障害を持つチャーリー・ゴードンが脳手術によって天才へと変貌し、やがて元の姿に戻っていく過程を、チャーリー自身の経過報告を通して描いた物語です。感動的な物語が好きな人にオススメです。



『デューク』

24HR S・R



愛犬デュークを無くした主人公の「私」が、クリスマスの日偶然であった少年との不思議な1日を通して別れを受け止め再生していく物語です。動物が好きな人や、感情が動くような物語が読みたい人にオススメです。



『空の境界』

11HR M・S

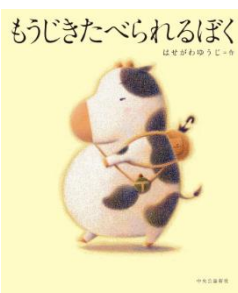


事故による昏睡状態から目覚めた少女・両儀式が、「直死の魔眼」と呼ばれる物の死を見る能力を手に入れたことから始まる伝奇小説です。ダークファンタジーやゴシックミステリーが好きな人にオススメです。



『もうじきたべられるぼく』

21HR Y・S



食肉用として育てられた子牛が、死ぬ前に一度だけ母親に会いに行こうと牧場へ帰省する物語です。命について考えたい人や優しい気持ちになりたい人にオススメです。



『その本は』

32HR N・H



目が不自由になった王様が、世界中から珍しい本のお話を聞き集めるように2人の男に命じ、その二人が持ち帰った様々な本のお話を王様に語る物語です。ヨシタケシンスケが好きな人にオススメです。



昨年度のPOPを五所川原市立図書館で掲示していました。利用者の方々から大変好評だったそうです。今回のPOPも展示中。

